

平成26年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場会社名 株式会社ブロードバンドタワー 上場取引所 東
 コード番号 3776 URL http://www.bbtower.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 藤原 洋
 CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 法務・経理統括 (氏名) 中川 美恵子 (TEL) 03-5202-4800
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第1四半期の連結業績 (平成25年7月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	6,536	58.1	233	120.2	227	—	97	386.4
25年6月期第1四半期	4,135	14.4	105	△25.3	12	△91.3	19	△79.4

(注) 包括利益 26年6月期第1四半期 123百万円(ー) 25年6月期第1四半期 2百万円(△97.8%)
 平成25年6月期第1四半期においては、子会社の株式会社ブランチ・アウトの業績は含まれておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	2.23	2.23
25年6月期第1四半期	0.46	—

(注) 当社は、平成25年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき500株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
26年6月期第1四半期	12,079	5,847	5,847	44.6	
25年6月期	11,701	5,764	5,764	45.6	

(参考) 自己資本 26年6月期第1四半期 5,388百万円 25年6月期 5,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期		250.00		1.00	1.50
26年6月期					
26年6月期(予想)		0.50		1.00	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 当社は、平成25年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき500株の株式分割を行っております。
 平成25年6月期第2四半期末の配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年6月期の連結業績予想 (平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	15.9	300	△44.8	320	△23.2	100	△43.1	2.30
通期	25,000	6.3	640	△35.1	640	△24.3	240	△18.1	5.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年6月期1Q	51,437,000株	25年6月期	51,437,000株
② 期末自己株式数	26年6月期1Q	7,980,000株	25年6月期	7,980,000株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年6月期1Q	43,457,000株	25年6月期1Q	43,399,000株

(注) 当社は、平成25年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき500株の株式分割を行っております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却を目指した財政金融政策の期待感によって緩やかな景気回復の兆しが見られるものの、欧州経済の長期低迷、新興国経済の景気減速等が懸念される等、企業を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、コンピュータプラットフォーム事業におきましては、サービス区分を再編し、太陽光発電事業への参入を契機にスマート・エネルギーが新たなサービスとして加わりました。

また、ファッションビジネスプラットフォーム事業におきましては、連結子会社である株式会社ビービーエフ（以下、ビービーエフ）及びその子会社である株式会社ブランチ・アウト（以下、ブランチ・アウト）を中心に引き続き売上高の拡大に注力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの概況は以下のとおりであります。

コンピュータプラットフォーム事業におきましては、サービス区分を再編し、データセンター、クラウド・ソリューション、データ・ソリューション、スマート・エネルギー、及びその他・海外事業に分けて展開しております。

データセンターでは、当社が保有する都心を主体とするデータセンターの占有率が約90%に達しておりますので、業績としては、ほぼ横這いの状態が続いております。そこで、今後の成長のために、ヤフー株式会社の100%子会社である株式会社IDCフロンティアと共同事業を行い、ヤフーグループが保有する白河（福島県）と北九州（福岡県）のデータセンターを再販することで合意いたしました。

クラウド・ソリューションでは、当社独自のc9サービスを展開しておりましたが、このたび株式会社ITコアより譲受した仮想化クラウドサービス「GrowServer」は当社でサービスを開始し、売上高に貢献し始めました。

データ・ソリューションでは、これまで主力の米EMC社の大容量ストレージの売上高が堅調に推移しました。また、EC市場の急成長やスマートフォンの普及に伴い、決済ソリューションも多種多様化しており、データセンター事業、クラウド事業の提供を行っている当社として、決済市場の更なる拡大を見越して、決済ビジネス向けのデバイス、アプリケーションやシステム開発等のソリューション提供を行うために、新たに100%子会社の株式会社Lyudiaを設立し、営業活動を開始いたしました。

その他・海外事業では、米国ハワイ州の共同事業先、DRFortress社のホノルルのデータセンターの再販契約に基づき営業活動を開始致しました。

この結果、コンピュータプラットフォーム事業の売上高は2,080百万円（前年同四半期比2.2%減少）、営業利益は80百万円（前年同四半期比9.2%増加）となりました。

一方、ファッションビジネスプラットフォーム事業におきましては、ビービーエフが行うECシステム構築支援・運用サービス、TVショッピング支援事業及びブランチ・アウトが行うファッションホールセールサービスを主軸とした事業を展開しております。

ECシステム構築支援・運用サービスでは、ブランドオフィシャルECサイトの制作・運用、日々の受発注業務、商品配送業務、課金・回収業務、集客支援等、インターネット通信販売を行うにあたって必要となる全ての機能を、顧客企業へプラットフォーム化して提供しております。PC、携帯、スマートフォン、タブレット等、新たな機器の普及に伴い、これまでとは全く異なる購買シチュエーションが次々に生まれており、インターネット通信販売は日に日に存在感を増してきております。その結果、継続的既存顧客との取引拡大に加え、新規顧客も順調に獲得できており、直近におけるサイト数は79サイトとなりました。

TVショッピング支援事業では、株式会社QVCジャパンを中心とするTV通信販売会社と衣料品メーカーを繋ぎ、商品企画、在庫・生産管理、番組への出演、販売に至るまでを支援する事を可能とし、売上高は引き続き順調に推移しております。

ファッションホールセールサービスでは、ブランチ・アウトが大手小売店に対し、衣料品の企画・デザイン・製造・販売全般を行っております。主力取引先である株式会社しまむらを中心とする大手小売店への売上高が引き続き堅調に推移いたしました。

また、ビービーエフにおきましては、成長国である中国を重要なマーケットと捉え、巨大な人口と購買力の上昇を背景に事業の拡大を目指すため、中国上海市に新たに100%子会社の上海布藍綺国際貿易有限公司を設立し、事業展開しております。

この結果、ファッションビジネスプラットフォーム事業の売上高は4,456百万円（前年同四半期比121.9%増加）となり、海外展開における新規投資費用の計上等により、営業利益は151百万円（前年同四半期比384.6%増加）となりました。

以上の事業活動の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は6,536百万円（前年同四半期比58.1%増加）、営業利益は233百万円（前年同四半期比120.2%増加）、経常利益は227百万円（前年同四半期比1,795.9%増加）、四半期純利益は97百万円（前年同四半期比386.4%増

加) となりました。なお、前第2四半期よりブランチ・アウトを連結範囲に含めておりますので、前第1四半期と当第1四半期との比較ではその比率は大きく増加しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ378百万円増加し、12,079百万円となりました。これは主に、太陽光発電設備等の取得による有形固定資産の増加391百万円によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ294百万円増加し、6,231百万円となりました。これは主に、買掛金の増加476百万円及び未払法人税等の減少246百万円によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ83百万円増加し、5,847百万円となりました。これは主に、四半期純利益97百万円の計上による利益剰余金の増加、剰余金の配当43百万円及び少数株主持分の増加26百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年8月7日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積りの変更)

当第1四半期連結会計期間において、平成25年11月に当社第二サイトの一部フロアを解約することを決定いたしました。これにより、解約に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

また、この決定に伴い、当該フロアのデータセンターサービス契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務についても、償却に係る合理的な期間を短縮し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ8,884千円減少しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,913,131	2,867,562
受取手形及び売掛金	2,747,586	2,922,773
有価証券	999,921	499,972
商品及び製品	556,450	725,501
繰延税金資産	112,289	119,177
その他	204,149	218,519
貸倒引当金	△2,948	△4,431
流動資産合計	7,530,580	7,349,076
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	871,327	734,181
機械及び装置(純額)	285,981	824,939
工具、器具及び備品(純額)	340,270	333,941
土地	1,078	1,078
リース資産(純額)	17,872	15,980
建設仮勘定	5,612	3,204
有形固定資産合計	1,522,144	1,913,326
無形固定資産		
のれん	936,452	1,036,958
その他	205,960	251,909
無形固定資産合計	1,142,412	1,288,867
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,506,449	1,528,685
貸倒引当金	△455	△455
投資その他の資産合計	1,505,994	1,528,229
固定資産合計	4,170,551	4,730,424
資産合計	11,701,131	12,079,500

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,133,197	2,610,091
1年内返済予定の長期借入金	525,000	608,000
未払金	159,543	202,918
未払法人税等	342,350	95,489
前受金	298,189	289,926
賞与引当金	72,885	93,442
役員賞与引当金	2,000	—
返品調整引当金	2,465	1,392
資産除去債務	45,372	51,354
その他	218,988	117,833
流動負債合計	3,799,991	4,070,448
固定負債		
長期借入金	1,475,000	1,533,000
退職給付引当金	18,410	20,509
役員退職慰労引当金	83,333	108,333
資産除去債務	547,744	488,322
その他	12,548	11,238
固定負債合計	2,137,036	2,161,402
負債合計	5,937,027	6,231,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,326,005	2,326,005
資本剰余金	2,309,293	2,309,293
利益剰余金	2,927,078	2,980,693
自己株式	△2,228,332	△2,228,332
株主資本合計	5,334,045	5,387,659
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	802	930
その他の包括利益累計額合計	802	930
新株予約権	29,613	32,899
少数株主持分	399,643	426,159
純資産合計	5,764,104	5,847,649
負債純資産合計	11,701,131	12,079,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,135,529	6,536,332
売上原価	3,564,464	5,385,339
売上総利益	571,064	1,150,992
販売費及び一般管理費	465,242	917,986
営業利益	105,822	233,006
営業外収益		
受取利息	322	832
為替差益	6,428	—
出資金運用益	—	5,959
その他	1,435	1,002
営業外収益合計	8,186	7,794
営業外費用		
支払利息	6,841	11,958
出資金評価損	2,318	—
支払手数料	92,500	—
その他	332	1,038
営業外費用合計	101,992	12,997
経常利益	12,015	227,803
特別利益		
新株予約権戻入益	—	124
特別利益合計	—	124
特別損失		
固定資産除却損	740	—
特別損失合計	740	—
税金等調整前四半期純利益	11,275	227,927
法人税、住民税及び事業税	16,309	91,100
法人税等調整額	△7,682	13,331
法人税等合計	8,627	104,432
少数株主損益調整前四半期純利益	2,648	123,495
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△17,308	26,424
四半期純利益	19,956	97,071

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,648	123,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,112	220
繰延ヘッジ損益	904	—
その他の包括利益合計	△208	220
四半期包括利益	2,439	123,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,748	97,199
少数株主に係る四半期包括利益	△17,308	26,516

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータプラットフォーム事業	ファッションビジネスプラットフォーム事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,127,726	2,007,803	4,135,529	—	4,135,529
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,334	750	5,084	△5,084	—
計	2,132,060	2,008,553	4,140,613	△5,084	4,135,529
セグメント利益	73,615	31,316	104,931	890	105,822

(注) 1 セグメント利益の調整額890千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は、以下のとおりです。

「ファッションビジネスプラットフォーム事業」において、平成24年8月22日付で株式会社ブランチ・アウト・デザインの全株式を取得し、同社及びその子会社である株式会社ブランチ・アウトを連結子会社としたことにより、セグメント資産が3,674,940千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ファッションビジネスプラットフォーム事業」において、株式会社ブランチ・アウト・デザインの全株式を取得し、同社及びその子会社である株式会社ブランチ・アウトを連結子会社といたしました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において1,101,656千円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータプラットフォーム事業	ファッションビジネスプラットフォーム事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,080,178	4,456,153	6,536,332	—	6,536,332
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,046	1,736	5,782	△5,782	—
計	2,084,225	4,457,889	6,542,115	△5,782	6,536,332
セグメント利益	80,353	151,762	232,115	890	233,006

(注) 1 セグメント利益の調整額890千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は、以下のとおりです。

「コンピュータプラットフォーム事業」において、太陽光発電設備を取得したことにより、セグメント資産が536,900千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

前第2四半期連結会計期間より、株式会社ブランチ・アウトを連結子会社に含めたことにより、「Eコマースプラットフォーム事業」を「ファッションビジネスプラットフォーム事業」に名称変更し、当該連結子会社を「ファッションビジネスプラットフォーム事業」としております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「コンピュータプラットフォーム事業」において、株式会社ITコアより仮想化クラウドホスティング事業（『GrowServer』サービス）を譲受けました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において135,957千円であります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当社グループは、生産に該当する事項がないため、生産実績に関する記載はしていません。

② 受注実績

当社グループは、受注生産を行っておりませんので、受注実績に関する記載はしていません。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	前年同期比(%)
	金額(千円)	
コンピュータプラットフォーム事業	2,080,178	△2.2
ファッションビジネスプラットフォーム事業	4,456,153	+121.9
合計	6,536,332	+58.1

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
ヤフー株式会社	1,130,233	27.3	1,063,341	16.3
株式会社QVCジャパン	1,024,879	24.8	996,200	15.2
株式会社しまむら	—	—	1,417,644	21.7

3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

4 ファッションビジネスプラットフォーム事業において販売実績が著しく増加しておりますが、これは主に、株式会社ブランチ・アウトが連結子会社となったことによるものであります。